



遊 道 楽 歩
(雑 感)



同じ犬種でも性格はかなり違う

長野 修二



目次

我が家で犬を飼い始めたの1997年の夏、子供たちが犬を飼いたいというので妻が子犬を探すことからはじまりました。

当時、妻はペットショップで購入することは考えていないようでしたが、その理由は、販売価格が高いというものだったように記憶します。

ある日、普段よくいくスーパーの掲示板に「子犬譲ります」というメモが張り付けてあり、価格も安いというのでこのブリーダーさんを訪問してみるようになりました。私はそれほど犬に興味をもっていなかったのが犬種も知らずただただ妻と子供たちのあとをついていただけだったのでしょうか。

我が家（私を除く）ではどうもミニチュア・ダックスのブラックアンドタンを飼う予定ができていたようで、訪問したブリーダーさんのところには同じ日に生まれた子犬たちが数匹いましたがブラックアンドタンは一匹だけでした。

子犬を見れば、それはそれは可愛くて我が家の全員（私も入る）が興奮状態となり、すぐさま飼うことが決まったのは言うまでもありません。

子犬は、まだ小さすぎるといって我が家に来るのは一か月先になりましたが、我が家にやってきてからは、夜中に泣くし、柔らかくしたエサを夜中にも与えなくてはならないなど妻は緊張の連続で子犬の世話して相当大変だったようです。

こうして最初のミニチュア・ダックス（パフィー）との生活がはじまりました。

マギーは、パフィー同様にブリーダーさんから譲り受けましたが、このブリーダーさんは、硬いエサを朝夕2回食べさせて飼育している関係で我が家にやってきても成犬と同じように硬いエサを与えるだけでした。

我が家にやってきた日、子犬（マギー）なのに硬いエサをボリボリ噛む姿は不思議な光景なのですが、なんだか愛らしさがあって思わず妻と会話がはずんでいました。

もっとも、我が家にやってきた日の夜だけは泣き続けていましたが、ブリーダーさんからのアドバイス「無視してください」を守ると、次の日からは静かに寝てくれるので妻が苦労したような夜中のエサやりはありませんでしたが、まだ子犬ですから朝は必ず6時に起きて泣くので私が起床してエサを与え、それからいっしょに遊んであげるのが成犬になるまでの日課になりました。

パフィーはおしっこを覚えるのが駄目だったようで結構あちらこちらに粗相をしていたようですが、マギーはすぐにトイレを覚えてゲージの中でできるようになりました。飼育担当の私にとってこんなに楽なことはありませんし、毎日、子犬時代のマギーと生活していくことは育児（子供たちの育児はやったことがないのに）の喜びにも似たものがあつたのでしょうか。

パフィーとの関係は、朝はやくから夜遅くまで仕事ばかりしていたので休日だけの付き合いでしたが、それでも私によくあつてくれていたのでいっしょに遊ぶことは少ないながら楽しい時間を過ごしました。

パフィーの毎日の生活は、子供たちと遊ぶことが一番だったようで二人の息子とは兄弟姉妹のような関係だったように思えます。

それほど仲良しでした。

休日には、パフィーと連れ立って出かけることも多く、九十九里浜は定番の遊び場だ

ったのではないのでしょうか。

パフィーの性格は、どちらかといえばおとなしいほうだったのでしょうか。

遊びに使うぬいぐるみもくわえることはあっても壊すほど噛むことはありませんでしたが、マギーはぬいぐるみなどはすべて噛んでバラバラにするほど強烈な遊び方です。その他家の中にあるイスや壁紙など噛んでしまうほどの暴れん坊ですから、性分で仕方ないのですが、妻はもっともな言葉ですが可愛くないといいます。

パフィーのおとなしい性格で世話をしてきた妻はなかばあきれ果てていますが、それでもおっこなどの粗相をしないことでマギーの評価は高くなってきているようです。さらに外出するとき、パフィーは自宅で留守番させられると怒りが爆発し、おしっこはそこらじゅうにするは、ごみ箱はひっくり返し、ゲージの中のおしっこシートはバラバラにかみ砕くほど猛烈な抗議をする犬でした。

他方、マギーは車に乗るのが好きでないようで、出かけるよという、いっしょにいかなくていいよと仰向けになって自ら意思表示し、おとなしくゲージの中で留守番することが好きな犬です。

家族が留守中にいたずらしていることはまったくといっていいほどありませんから、この点は妻も感心しています。

二匹の性格が大きく違うのは、家族以外の人間に接するときでしょうか。

パフィーは家族以外の人間に心を開くことはありませんでしたが、マギーは人間が大好きなようでほとんどの人間にフレンドリーに接してくれます。

ただし、散歩のとき急に接してくる人に警戒を怠りませんし、吠えることもよくありますが、家に上がってくる人に吠えることはまったくといっていいほどないようです。

二匹に共通するところは寝坊すけなところですか。

我が家の特徴でもあります。我が家の寝坊すけぐせが移ったのか、二匹とも元々寝坊すけかはわかりませんが二匹とも朝もよく寝ています。

休日の朝、パフィーもでしたが、マギーも鳴き声で起こされることはまったくありません。

その他共通することは、二匹とも甘えん坊で家族のことが大好きなことでしょう。

遊ぶことも大好きですし、いつも妻や子供たち、さらに私のそばにすることが多いです。

また、二匹とも健康で予防注射以外で病院へいくことがありません。

もっとも、マギーは、我が家に来て2年弱ですからわかりませんが、パフィーは16年の間健康で楽しく我が家で暮らしてくれました。

健康なところもこの犬種に共通するような気がします。

マギーをみていると、子犬のときに一匹で我が家にやってきて寂しい思いをしたことでしょうか。

我が家に来る日まで兄弟姉妹3匹でいっしょに暮らしていたのですから、突然、我が家

に連れてこられた心理を考えると、思わず大切に育ててあげなくてはと思ってしまい、ついつい過保護になってしまいます。

パフィー同様、マギーから多くの楽しさと面白さというご褒美をもらっているのですから、私たちのパートナーとしていつまでもいっしょに健康に暮してくれることが一番です。

マギーとの思いで作りは、まだスタートしたばかりですが、子供たちが巣立った我が家ではいなくてはならない存在です。

私たち夫婦が健康でいられるのもマギーのおかげかも知れません。

私たち夫婦は、まさにマギーの里親のような存在でしょうか。

同じ犬種でも性格はかなり違う

著 長野修二

制 作 Puboo
発行所 デザインエッグ株式会社
